

キャラクター名
高春裕仁

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ハヌマーン		ワークス	何でも屋	カヴァー	フリーター・雑用
	オプション		年齢	20	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	加虐		初期侵食率	31 %
出自	有名人	経験	UGNへの畏怖		邂逅	秘密：ローザバスカビル

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	38
肉体	3	1	3	1		8	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	0	0	1		2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃			RC			交渉		
回避	3		知覚	3		意志	5		調達	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：FH	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
武器：日本刀	白兵	8r+9	3	5		
	白兵	14r+9		15		コスト8, C8
	白兵	16r+9		17		コスト8, C7
	白兵	9r+9		45		コスト13, C8

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
		0	0	0	

所持品	
コネ：噂好きの友人	
ウェポンケース	
コネ：UGN幹部	
コネ：情報屋	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
D: 超侵食(ディープイロージョン)	P	N		
紅野くん	P 連帯感	N 嫉妬		
ゼノス：都築京香	P 慈愛	N 恐怖		
UGN支部長：眞道進	P 信頼	N 脅威		
連絡主	P 執着	N 脅威		
ミヤモル	P 連帯感	N 劣等感		
ラスボス	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	自身	自動	-	
効果： C値を-[SL]する								
アームズリンク	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 判定のダイス+[SL]個								
音速攻撃	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 判定のダイス+[SL]個								
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 全力移動								
バリアクラッカー	3	4	メジャー	武器	-	対決	80↑	
効果： ガード不能、カバール効果無視(カバールは可能)、装甲値無視、1シナリオ中[SL]回使用可能								
マシラのごとく	3	5	メジャー	-	シンドローム	対決	80↑	
効果： 判定-5d, 攻撃力+[SL×10]								
加速装置	4	1	セットアップ	至近	自身	-	-	
効果： 行動値を+[SL×4]								
雷光撃	5	2	メジャー	-	シンドローム	対決	-	
効果： 攻撃力+[SL×2]								
セキュリティカット	★	1						
効果： セキュリティを無効化できる								
軽功	★	-						
効果： 身軽でどのようなところも移動できる								
タッピング&オンエア	★	1						
効果： 電波を受信し情報を得る。送信も可能								
蝙蝠の耳	★	-						
効果： 10キ口程度離れた場所の音を聞き分ける能力								
効果：								

雑用仕事を請け負う何でも屋事務所勤務する20歳の男である

父親はメディア受けの良い県議会議員で、エリート中のエリート本格的に超人と思えるほどの強大な人物であった

14歳の冬に能力に覚醒する。友人を助けたいというものだった結果として友人は死ぬことができなかった

友人は心が強くなかった。けれど、俺の力につられてか友人も能力を発露させるおんなじだ、なんて笑える間はよかったが、彼は能力に振り回されることになる

この力がレネゲイドウィルスに関係する、ということを知ったのは1年後のことだった

UGNに属すれば能力にまつわる厄介ごとはなくなるといわれた現実、同じように能力を持つ人たちが集まっており、疎外感を感じなかった

UGNなんて組織に関わることを父親はよしとしなかったし、能力の事も認めなかったこれ以降、実家に関わることはできなくなってしまった

それでも生きていくにはUGNは都合が良かったし、理想を求めるには十分すぎた

18歳になった秋に、大きな事件が起きる